

# SANS FRONTIÈRES

## vol.29

水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryu.ac.jp/>

### 葵陵祭 各クラスの展示

6月16日、17日に行われた葵陵祭。今回は各クラスの展示についてご紹介します。

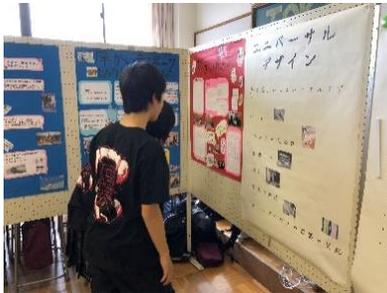
#### 【1年1組】

「黒澤のカルテ」というタイトルで脱出ゲームを行いました。人間の臓器に関する問題をレベルごとに出題し、正解をすると次に進め、最終的には患者を救うというものでした。小さい子どもから大人まで楽しめる問題となっており、何度もチャレンジする人もいました。また、クラスの前には人間の臓器(脳・肺・心臓)の展示も行い、生徒たちも調べ学習により知識を深めることができました。



#### 【1年2組】

パラリンピックに関する展示とボッチャというパラリンピックの正式種目の体験を行いました。普段はスポットに当たらない“障がい者”や“パラスポーツ”について、各班ごとに調べ学習を行い、実際のパラリンピアンの方を学校に招き、インタビューするなど、精力的に取り組みました。また、多くの人に“ボッチャ”を体験してもらい、少しでも障がい者スポーツの普及活動ができたことうれしく感じています。



【2年1組】遊園地といえば某夢の国。それが葵陵にやってきた！をコンセプトに、回転しながら上下する乗り物をモチーフにしたアトラクション「DANBO」を製作しました。単管パイプを繋げて製作し、より楽しめるような演出と安全性を確保するための工夫を随所にちりばめました。また、食品ではチュロス販売。即完売の行列のできるお店となりました。



【2年2組】ソフトクリームの販売を行いました。初めての飲食販売を楽しみに、女の子を中心に外観のデザインから制作までコツコツと協力して作成していました。教室の中では男子による暗闇の中での大迷宮が繰り広げられ、出てくる速さを競ったりと子どもから大人まで様々な年齢層のお客さんが出入りしていました。特に2日目は、接客の難しさを感じたという声があり、来年の課題が見えたようです。



【3年1組】エネルギー問題を考えるために、永久機関を模した展示物を作成しました。自転車の廃材とペットボトルで組み立てた半永久機関を再現したり、90mの銅線を巻いたコイルと電池で作った電車や、ペットボトルで作ったエアコンなど、人間が快適に暮らすためにどのように工夫・発明してきたのかをまとめました。



【3年2組】昨年に引き続き「タピオカジュース」の販売を行いました。昨年のノウハウを活かして、今年は600食近く販売しました。クラスの総人数が13名と最小のクラスであり、部活動や生徒会等の展示物のローテーションも有り、やりくりが大変な中でクラス全員が協力し合って、調理・販売を行うことができました。写真にはやり遂げた「満足感」が一人ひとりに表れていると思います。

## 第1回 大学出張模擬授業



6月21日、医歯薬コースの1, 2年生を対象に、今年度第1回目の大学出張模擬授業が開かれました。今回は、茨城県立医療大学から3人の先生(山口先生・本村先生・大島先生)をお招きし、3つの分野(医科学・看護・作業療法)に分かれてご講演をいただきました。

山口先生には、「病気のメカニズム」というテーマで、怪我の治り方といった身近な内容からiPS細胞、さらには英語の重要性まで幅広い内容でご講演をいただきました。看護学からは本村先生に、「脳の可塑性と機能回復～摂食嚥下障害と認知症～」といったテーマについて脳の仕組みから正常な脳とアルツハイマー病の脳を比較した画像を使うなど、生徒たちにわかりやすく授業をしていただきました。作業療法の観点からは大島先生に、「子どもの作業療法」についてお話をいただき、障がいを持っていても、発達の遅れの原因がわかれば子どもは伸びるといふ先生の熱い気持ちが伝わるようなご講演でした。生徒からは、大学の授業はより専門的で大変そうだと、といった感想もありましたが、その分、好奇心や医療への興味・関心が高まるような有意義な時間であったという意見が多くありました。

## 医学部医学科志望者対象講演会



医歯薬コースでは、毎年、医学部医学科志望者とその保護者を対象に、医歯専門予備校 メルリックス学院学院長、田尻友久先生に講演して頂いています。

今年度は、トータルアドバイザーの鈴木さんにもおいで頂き、医学科志望者の「よくある質問」にお答え頂きました。厳しい現実と、しかし、やり方を考え、努力をすれば決して到達できない目標ではない、ということを教えてくださいました。

生徒の感想として

「自分が思っていた質問に答えてもらったので、今後の勉強に活かしていきたい」(1年生)

「改めて医学部医学科合格の厳しさを知り、より一層勉学に励む必要があると感じた」(1年生)

という感想もあり、参加した生徒にとっては、今後医学部医学科を目指す上で大変貴重な講演となりました。

## 入試情報 オープンキャンパスのポイント

夏休み、オープンキャンパスに参加する人も多いのではないのでしょうか。しかし、ただ行くだけでは、効果半減。また、「3年生になってから行けばいい」「志望校が決まってから行けばいい」と思っている人はいませんか？ オープンキャンパスに参加してみて、進路の方向性が決まることもあります。学年によって目的も違うはず。

1年生…大学の雰囲気を知る。学部・学科の内容を知る。

2年生…入試の内容を知る。入試に向けて準備しておくべきことを知る。

3年生…志望校について内容・入試について確認する。モチベーションを高める。

推薦入試を考えている人は絶対に参加。

### 【ポイント① 学部・学科の内容を確認する】

各大学によって、学部・学科の名称が異なることもあります。自分がやりたいことができるのか、自分の目で確かめるチャンス。3年生になってから「考えていたのと違う」とわかって混乱するケースもあります。早いうちに確認しておきましょう。模擬講義や実習体験も、ぜひ参加しましょう。

### 【ポイント② 同じ系統の複数の学部・学科に行ってみる】

大学によって、学部・学科の内容は少し違います。志望していなかった学部・学科の方が、自分の希望に近いこともあります。まずは見学してみること。

### 【ポイント③ 複数の大学に行ってみる】

複数の大学に行って比較することで、大学の特色がわかります。自分の志望もはっきりしてくるはず。学部・学科の内容も、環境も、自分の希望に近いのはどの大学か、比較対照してより具体的に考えることができます。

### 【ポイント④ 入試説明会に参加する】

入試で何を重視しているか、どんな力が必要か、説明会で確認しましょう。過去問題の冊子を配布している大学もあります。個別相談会なども、積極的に参加しましょう。

パンフレットや Web で見るのと、実際に行ってみるのはやはり違います。自分の目で見て、肌で感じて、「この大学に入りたい！」というモチベーションが強くなります。その大学の学生からのアドバイスを受けて、学習態度が変わった生徒もいます。目標を定めるため、志望校を決めるため、ぜひオープンキャンパスに参加しましょう。